



# 防災だより

～ 地域福祉等推進特別支援事業 ～

社会福祉法人

八重瀬町社会福祉協議会

八重瀬町字東風平1318-1

電話 : 998-4000

ファクス : 998-8999

社協HP

<http://www.yaeseshakyo.com/index.html>

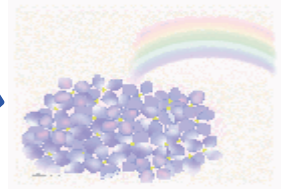
## 災害に強い八重瀬町を目指して！

この度、八重瀬町社会福祉協議会では地域福祉等推進特別支援事業の一環として、「防災だより」を発行することとなりました。

今回は、長雨による災害について、お話したいと思います。



## 梅雨シーズン



## 長雨による災害に注意しましょう！

梅雨（ばいう、つゆ）とは、北海道と小笠原諸島を除く日本、朝鮮半島南部、中国の華南や華中の沿海部、および台湾など、東アジアの広範囲において見られる特有の気象現象で、5月から7月にかけて毎年巡って来る雨の多い期間のことです。梅雨の時季が始まることを梅雨入り（入梅）、梅雨が終わって夏になることを梅雨明け（出梅）と言い、ほとんどの地域では気象当局が梅雨入りや梅雨明けの発表を行います。

梅雨は、雨季の一種です。ただ、雨季が訪れる土地は世界中に多くありますが、梅雨はそれほど雨足の強くない雨が長期に亘って続く点に特徴があります。このため、カビや食中毒などに注意が必要な季節とされています。

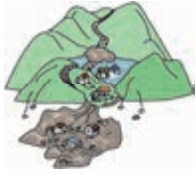
梅雨の語源としては、この時期は梅の実が熟す頃であることからという説や、この時期は湿度が高く黴（カビ）が生えやすいことから「黴雨（ばいう）」と呼ばれ、これが同じ音の「梅雨」に転じたという説、また“毎”日のように雨が降るから「梅」という字が当てられたという説がある。【普段の倍、雨が降るから「倍雨」というのはこじつけ。】

梅雨時期の雨量は、西日本では年間水量の4分の1程度、東日本では5分の1、北日本や日本海側では5分の1から10分の1程度となっています。梅雨末期の集中豪雨はさまざまな水害をもたらすことがありますが、梅雨全体としての雨量は冬の日本海側の雪とともに、日本のたいせつな水資源となっています。



# 沖縄地方の梅雨に関する統計資料

年	梅雨入り	梅雨明け	梅雨期間日数	5・6月の2ヶ月間の降水量(mm) 那覇
2005 (H17)	5月2日	6月27日	56日間	1036.0
2006 (H18)	5月14日	6月20日	37日間	667.0
2007 (H19)	5月16日	6月21日	36日間	573.5
2008 (H20)	5月22日	6月17日	26日間	271.0
平年値(2005~2008)	5月8日	6月23日	46日間	445.5



## 長雨による災害



### 被害報告

#### 1・平成17年6月14日、17日

・沖縄県島尻郡南城市佐敷で連続降雨量374mm  
(6月14日：午前5時～17日：午前8時)

老人福祉施設「小谷園(おこくえん)」の施設北側斜面が崩壊し、入所者70人全員が同町新開の町老人福祉センターに避難。



土砂の崩壊状況(6/14)

#### 2・平成18年6月10日

・中城村北上原(大規模道路陥没)および中城村奥間(県道35号線土砂崩れ)

降り続く雨の影響で、中城村北上原では村道陥没などで11世帯30名に避難指示・勧告が続き、公民館などに身を寄せている。

また、中城村登又の村道では長さ5メートル、幅3メートルにわたって亀裂が入るなどし、道路



県道35号線土砂崩れ状況(6/12)

#### 3・その他の災害

- ・うるま市与那城藪地島における土砂崩れ(6/11)
- ・南城市玉城字糸数大城ダム付近の土砂崩れ(県道86号線沿い)
- ・南城市佐敷字伊原の山の斜面で地すべり。(6月13日)
- ・うるま市江洲で地すべり。(6月12日)